経済学部国際ワークショップ
「文化観光の経済学」

2016 年の訪日外国人数は 2,400 万人近くに達しましたが、これにつれて観光学の重要性が高まっています。なかでも、近年、文化観光（Culture Tourism）、あるいは、文化を対象とした観光に注目が集まりつつあります。すなわち、旅行者が世界遺産・各国独自の文化財・伝統芸能などの観光資源に触れ、これに関する知識及び理解を深めようとする観光が脚光を浴びつつあります。

本ワークショップは、イタリア・カターニャ大学経済学部から Ilde Rizzo 教授を招へいし、*The Economics of Cultural Tourism: Theory, Practice and Policy* と題して報告を頂きます。文化観光の経済分析に関する研究動向とご自身の研究、文化観光の意義、政策的含意等について論じていただく予定です。また、勝浦正樹・名城大学経済学部教授から、Rizzo 教授の講演へのコメント―日本の観光の実証分析における問題点と関連して―」をお願いしています。

これらの議論を通じ、文化観光、さらには広く観光が経済に及ぼす影響について分析・議論を行いたいと考えております。

是非とも、皆様のご参加をお待ちしております(事前申し込みは不要です)。

◆開催日時:　2017 年 3 月 27 日（月）　15 時 00 分～17 時 00 分

◆場　　所:　摂南大学経済学部ゼミ室 1（1号館7階）

◆プログラム:

15:00~15:10	*Opening: Prof. Hiromasa Kubo (Setsunan University)*
15:10~16:00	*The Economics of Cultural Tourism: Theory, Practice and Policy*
	Prof. Ilde Rizzo (University of Catania, Italy)
16:00~16:15	*Discussions and some Comments*
	Prof. Masaki Katsuura (Meijo University)
16:15~17:00	*Discussions with participants*

◆ *Chair: Prof. Kazuko Goto (Setsunan University)*

注）使用言語：英語

◆講師・討論者の紹介

Ilde Rizzo 教授：イタリア・カターニャ大学経済学部教授、国際文化経済学会会長
勝浦　正樹　教授：名城大学経済学部教授、文化経済学会<日本>会長

【本件にかかる問い合わせ先・・・摂南大学経済学部事務室：濱崎（Tel:072-839-8120）】